

病理学検査

() は
保存温度

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施料	報告 日数	備考	外注先
病理・組織検査	1346	病理組織1臓器	40 病理組織検査用	ホルマリン固定組織	HE染色、他		病理学 860	3～5		1
	1348	病理組織2臓器	40 病理組織検査用	ホルマリン固定組織	HE染色、他		病理学 1720	3～5		1
	1350	病理組織3臓器以上	40 病理組織検査用	ホルマリン固定組織	HE染色、他		病理学 2580	3～5		1
		ブロック作成		ホルマリン固定組織	切り出し・包埋			3～5		1
		未染標本作成(ホルマリン固定)		ホルマリン固定組織	切り出し、包埋、薄切、染色			3～5		1
		未染標本作成(パラフィンブロック)		パラフィンブロック	薄切			2～3		1
		染色標本作成(ホルマリン固定)		ホルマリン固定組織	切り出し、包埋、薄切、染色			3～5		1
		染色標本作成(パラフィンブロック)		パラフィンブロック	薄切			2～3		1
		染色標本作成(未染標本スライド)		未染標本スライド	染色			1～2		1

検査実施料の算定例（令和6年6月）

臓器数	実施料	算定例	肉眼的所見(大腸)
1臓器	860点	胃生検、十二指腸生検、食道生検、肺生検、肝生検、腎生検、胆のう、虫垂、乳腺腫瘍、前立腺、子宮頸部生検、子宮内容物、気管支＋肺、上行結腸＋横行結腸＋下行結腸、子宮体部＋子宮頸部、胃＋十二指腸、小腸、直腸	
2臓器	1720点	食道生検＋胃生検、胆のう生検＋虫垂、卵巣＋輸卵管、腎＋尿管、子宮筋腫(子宮＋卵巣)、睪丸＋副睪丸、胃癌(胃＋所属リンパ節)、乳癌(乳腺＋所属リンパ節)	
3臓器以上	2580点	回盲部腫瘍(大腸＋小腸＋虫垂＋所属リンパ節)	

- ※ リンパ節については、所属リンパ節ごとに1臓器として算定します。
但し、複数の所属リンパ節が1臓器について存在する場合は、当該複数の所属リンパ節を1臓器として数えるものとします。
- ※ 大腸生検については右図の肉眼的所見欄の大腸図の太線による臓器算定区分があり、3臓器を限度に臓器加算できます。
- ※ 病理組織学的検査にあたって、免疫抗体法を用いた検査を行った場合は、方法(蛍光抗体法、酵素抗体法)、試薬の種類にかかわらず所定点数に400点を加算することができます。
但し、1臓器につき1回のみの算定となります。
- ※ 確定診断の為に4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者に対して、免疫抗体法を実施した場合には、所定点数に1200点を加算することができます。
原発不明癌・原発性脳腫瘍・悪性リンパ腫・悪性中皮腫・肺悪性腫瘍(腺癌、扁平上皮癌)・消化管間質腫瘍(GIST)・慢性腎炎・内分泌腫瘍・軟部腫瘍・皮膚の血管炎・水疱症(天疱瘡、類天疱瘡等)・悪性黒色腫・筋ジストロフィーまたは筋炎が疑われる症例に限る。